

森林・林業、林産物の分野に対応する農林系研究機関です。  
 多面的機能を発揮する森づくりと、林業・木材産業の振興を目的に  
 林木育種、造林・育林、病虫害対策、木材利用、きのこ育種・栽培等  
 に関する研究・技術支援を行っています。

◎こんな分野に対応しています

- 1 スギ、ヒバ等の優良品種開発
- 2 造林用種苗の生産・供給
- 3 森林の環境調査や施業技術（造林・育林）
- 4 森林病虫害獣害の対策
- 5 ICT等の先端技術を扱うスマート林業技術
- 6 木材・木質材料の生産・利用技術
- 7 食用きのこの品種開発や栽培技術
- 8 特用林産物の生産技術

◎こんな施設・設備などがあります

- 1 採種園、採穂園  
（十和田ほ場）
- 2 木材利用実験棟  
（製材機械、強度試験機等）



スギ採種園



木材強度試験の依頼を受けています。

実大木材強度試験機

- 3 きのこと栽培研究棟  
（殺菌・接種設備、培養室等）

◎所在地とアクセス



地方独立行政法人  
 青森県産業技術センター  
 林業研究所

◎研究部と主な業務

森林環境部

スギやヒバ等の優良品種開発、造林用種苗の生産技術、森林環境の調査、造林・育林のための施業技術、病虫害獣害の調査・対策技術などに関する研究を行っています。

また、スギやアカマツ、カラマツ、ヒバ等の造林用種子の生産と配布を行っています。



花粉を飛散させない「無花粉スギ」の育種

森林資源部

県産木材の利用に関わる木材強度や乾燥技術、食用きのこの品種開発や栽培技術、うるし等の特用林産物の栽培技術などに関する研究を行っています。

また、ドローン等を活用した森林計測技術に関する研究を行っています。



きのこの栽培試験



十和田ほ場（十和田市大字相坂字高清水地内）



研究管理棟（平内町）

〒039-3321  
 青森県東津軽郡平内町大字小湊字新道46-56  
 Tel : 017-755-3257 Fax : 017-755-4494

## ◎主な研究成果

### ◆抵抗性クロマツによるマツ材線虫病対策

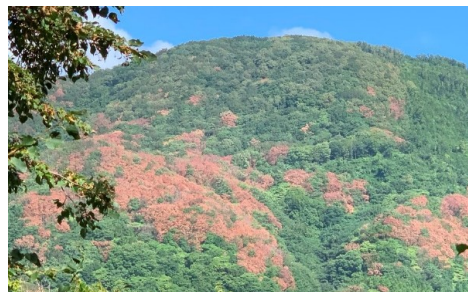
- 【目的】 マツ材線虫病に強いクロマツ種苗を生産する。
- 【結果】 抵抗性クロマツ接ぎ木苗を増殖・植栽した採種園を整備した。
- 【今後】 採種園から種子を生産し、抵抗性クロマツ種苗を供給する。



抵抗性クロマツ採種園

### ◆ナラ枯れ対策

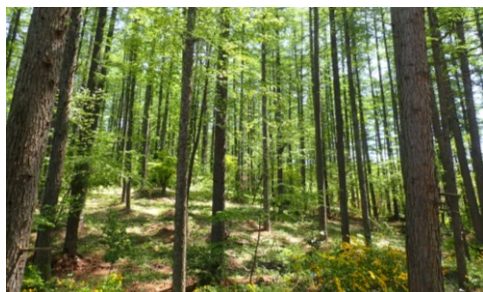
- 【目的】 ナラ枯れを引き起すカシノナガキクイムシの生態を明らかにし、防除に活用できるデータを提供する。
- 【結果】 ナラ枯れハザードマップ、防除暦を作成した。
- 【今後】 林業関係者による防除対策への活用を図る。



ナラ枯れ被害地（褐色の葉が被害木）

### ◆カラマツ人工林施業技術

- 【目的】 本県に適した施業技術を開発・普及する。
- 【結果】 カラマツの生育適地を明らかにし、保育作業や病害等を含めた施業マニュアルをまとめた。
- 【今後】 適地造林、適切な施業・管理に向け、技術支援する。



健全なカラマツ林

### ◆ドローン活用による森林資源調査手法

- 【目的】 森林調査の労力軽減を図る計測技術を開発する。
- 【結果】 ドローン空撮やデータ解析の技術をまとめ、効率的な調査手法として提案した。
- 【今後】 多様な現場での実証を進め、技術を普及する。



ドローン空撮による森林計測

### ◆大径材から得られる集成材ラミナの強度

- 【目的】 スギ大径材から得られるラミナ（ひき板）の強度性能を把握する。
- 【結果】 丸太の等級が高いほど強度等級の高いラミナが得られることを明らかにした。
- 【今後】 ラミナ生産や集成材利用の技術支援に活用する。



試作した集成材（ラミナ7層）

### ◆青森きくらげの普及

- 【目的】 開発したアラゲキクラゲ品種（商品名：青森きくらげ）の生産振興を図る。
- 【結果】 栽培の手引きを作成し、栽培研修や現地指導を行うことで、生産者数、生産量が増加した。
- 【今後】 IoT活用の栽培技術等の研究開発を進める



青森きくらげ生産現場

## ◎その他の試験・研究・調査

- ◆低コスト・省力化の造林技術
- ◆松くい虫被害木診断
- ◆ヒバ・カラマツ種子の安定生産技術
- ◆丸太の簡易的な測定・選別技術
- ◆成分優位性のあるきのこの品種開発と栽培技術